

一 説明的文章の読解

- 問一 B「そして」以下の段落と、「また」に続く二つの段落を受け、どちらでも同じ結果になることをまとめて言い換えている。
- 問二 補う。文の「その」が何を指しているかを考える。
- 問五 (1) 畑にまく水として地下水を使った場合、地下水に含まれる塩分が徐々に畑にたまっていて、作物が育たなくなる。
- 問六 米国にとって「農業が大事な産業であること」、「作物をほかの国に輸出したいこと」の二点をわざわざまとめる。

二 詩歌を含んだ文章の読解

- 問一 Aの詩は、「虫たち」が「寶石を磨く」という擬人法の着想が、詩の中心。Bの詩では、第三連の三行目から続く体言止めが、効果的に余韻を残している。また、第三連の六・七行目が倒置法。
- 問三 虫の鳴き声の独特なとらえ方、そこから発想された「あかるい」という視覚的表現に驚いている。
- 問四 鑑賞文中の「死の予感」「切なさ」などの表現と合うものを選ぼう。
- 問五 (1) a 「いつ どうして」の表現に「そんなはずではなかった」という思いがこもっている。
 b 詩の最後の三行は行末を「影」の語でそろえ、しだいに詳しく述べている。
 (3) 醜いものすらも美しい影にしてくれる夕焼けの情景に、作者は「救い」を求めている。

三 漢字の読み書き・知識・文法

- 問一 ② 「助成」は、研究や事業を経済的に援助すること。
- 問四 aは副詞。rは終止形が「高まる」の動詞。「高い」という形容詞とは異なるので注意。

四 古文の読解

- 問一 「早く梅が咲いてほしい。(継母は梅の咲くころに)来ましようと言ったけれど、本当に来てくれるだろうか」という部分が、作者の心の中の言葉。
- 問三 「これが花」の「これが」は、主語を示すのではなく、「これの花」という意味である。
- 問四 古語では「完了」を表す助動詞の「ぬ」がしばしば使われるので注意しよう。
- 問五 この場面で少女だった作者は、家を出て行った継母を慕い、継母の訪問を心待ちにしている。